

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 19世紀後半から20世紀後半の日本の貿易や経済の状況について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

国土が狭小で資源に乏しい日本にとって、外国貿易は必要な資源を獲得する重要な手段である。日本では17世紀前半から外国貿易が厳しく管理・制限されていたが、幕末にアメリカとの間で締結された①日米修好通商条約をはじめとする諸条約によって、広く外国貿易が行われるようになった。

貿易は基本的に異なる貨幣を用いる地域で行われるから、貨幣間の交換比率(為替相場)が貿易に影響を及ぼす。近代の世界では各国の貨幣は貴金属、主に金や銀の価値で保証されており、金と銀の交換比率(金銀比価)が貿易に影響した。19世紀後半には金に対する銀の価値が低下し、多くの国が銀本位制から金本位制に移行した。②日本は1885年に銀本位制を採用したが、国内外の情勢に影響されて、日清戦争後に金本位制が採用されるに至った。

問1 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 江戸と京都を開市することが定められた。
- ② アメリカ人は開港場の外国人居留地でしか貿易活動を許されなかった。
- ③ 日本はアメリカ船に石炭や水・食料を提供することが定められた。
- ④ アメリカ人に対して法を犯した日本人は、アメリカの領事裁判にかけられることとなった。

日本史 A

B

外国貿易の決済は、正貨(金や銀)あるいは国際的に信用のある外貨(外国の貨幣)で行われる。したがって、必要な資源を継続的に外国から輸入するためには、輸出によって正貨や外貨を獲得しなければならない。輸出を輸入が上回る貿易赤字が続くと、正貨や外貨が枯渇して輸入ができなくなるからである。

日本では 1880 年代後半以降に持続的な経済成長が始まったが、日露戦争後に貿易赤字が定着した。㉔日本は産業政策や財政・金融政策を通して貿易赤字の解消に努めた。また、日本は植民地との貿易を拡大して外貨問題を解消しようとした。植民地との貿易は外貨ではなく円で決済されたからである。

世界恐慌によって世界貿易は縮小した。こうした状況の中で、㉕列強は、本国と植民地との経済的つながりを強めようとし、日本も同様の政策を推し進めた。日中戦争期とアジア太平洋戦争(太平洋戦争)期には、㉖日本は占領地との貿易を円で決済したり経済を統制したりするなどして外貨問題の解決に努めたが、物資輸送難に直面して戦争継続が困難となった。

問 3 下線部㉔に関して、1890～1930 年代の日本の貿易や産業について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 日清戦争後に紡績業が輸出産業化した。原料となる綿花輸入の増大は、日本国内の綿作の衰退をもたらした。
- ② 第一次世界大戦を受けて輸入超過から輸出超過に転じたが、大戦後にヨーロッパ諸国の復興が進むと輸入超過に転じた。
- ③ 浜口雄幸内閣は緊縮財政からの転換と産業合理化を推進して、貿易赤字の解消を目指した。
- ④ 犬養毅内閣は金輸出再禁止を実行したため、為替相場が下落して輸出が増大した。

問 4 下線部㉑に関連して、次の表 1・2 に関して述べた後の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 4

表 1 1935 年の日本の貿易 (単位：100 万円)

		食料品	軽工業品	重化学工業品	その他	総 額
輸 出	植民地	156	405	405	111	1,077
	外 国	163	1,604	283	150	2,199
	合 計	318	2,009	688	261	3,276
		食料品	繊維原料	燃 料	その他	総 額
輸 入	植民地	572	38	8	207	825
	外 国	181	944	205	1,117	2,447
	合 計	753	983	212	1,324	3,272

(山本有造『日本植民地経済史研究』により作成)

(注) 小数点以下を四捨五入しているため、各項目の金額の和が総額または合計と一致しない箇所がある。

表 2 1938 年におけるアジアの植民地の対本国貿易比率 (単位：%)

植民地	本 国	1938 年	
		輸 出	輸 入
フィリピン	ア	78	70
インド	イギリス	34	31
イ 領東インド	イ	20	22
フランス領インドシナ	フランス	47	52
朝 鮮	日 本	78	85

(杉原薫『アジア間貿易の形成と構造』により作成)

(注) 対本国貿易比率：本国との貿易額 ÷ 全貿易額 × 100

(注) 本国・植民地間の貿易は移出・移入と言われるが、表では輸出・輸入とした。

日本史 A

- a 表 1 によると、植民地への輸出は輸出全体の 30 % を超える規模に達し、外貨の獲得に寄与した。
- b 表 1 によると、植民地からの輸入は食料品が最も多く、外貨の節約に寄与した。
- c 表 2 によると、1938 年において、日本の植民地よりイギリスやフランスの植民地の方が、本国の市場に強く依存していた。
- d 表 2 の空欄アに入るのはアメリカ、空欄イに入るのはオランダである。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 5 下線部㉔に関連して、日中戦争期・アジア太平洋戦争(太平洋戦争)期の日本の物資や資源の確保に関わる動きについて述べた文として正しいものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 国家総動員法が制定され、政府は議会の承認なしに物資や労働力を動員できるようになった。
- ② アメリカやイギリスなどが中華民国に物資を送るルートを遮断するため、日本は重慶を占領した。
- ③ 東南アジアの資源を獲得することを目的にマレー半島へ進駐したため、アメリカは対日石油輸出を禁止した。
- ④ 中国や東南アジアの占領地では、日本軍が物資を調達する際の代価として、占領以前から現地で流通していた軍票が用いられた。

C

日本の敗戦と東西冷戦の開始は東アジア情勢を混乱させ、それはこれらの地域を主要な貿易相手としてきた日本に影響を及ぼした。㉕戦後復興の鍵となる外国貿易をどのように再構築していくのかは、日本経済の重要な論点となった。

1950年代後半から日本は高度経済成長期に入っていく。高度経済成長を外国貿易の面から支えたのは、㉖アメリカ主導によるドルを基軸通貨とする固定為替相場制と、自由貿易体制であった。

問 6 下線部①に関連して、次の史料の内容に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

6

史料 吉田茂と張群との会談(1952年8月6日)

来日中の蔣(注1)総統特使張群氏は(中略)吉田首相を訪問(中略)。会談は日本の東南アジア貿易と関係を持ち、さらに日華(注2)両国の防共問題について関連あるものとして注目されている。これらの日華間の経済的及び政治的問題はもちろん米国を背景とするもので、第一の東南アジア貿易は中共(注3)貿易が困難な限り当然日本として開発せざるを得ないものであるが(中略)吉田首相としてはこれが打開のため、東南アジア諸国に絶大な勢力を持つ華僑(中略)を通じての東南アジア貿易によって局面打開を考慮している。(中略)張群氏は、国民政府が仲介として華僑との貿易促進に便宜を供与する旨を約束した。(中略)張群氏は、吉田首相に対して日本の急速な再軍備の必要を説き(中略)吉田首相は、朝鮮動乱などによる共産主義の危険に対して両国の防共に対する提携の必要を肯定したものの如くである。

(『毎日新聞』)

(注1) 蔣：蒋介石。

(注2) 華：中華民国(国民政府)。

(注3) 中共：中華人民共和国。

X 朝鮮戦争が継続する中で中華人民共和国との貿易が困難なため、日本では東南アジア貿易に期待する動きがみられた。

Y 共産主義に対抗し、西側諸国との連携強化を図りたい中華民国は、日本と東南アジアとの貿易の促進に便宜を供与しようとした。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 A

問 7 下線部㊸に関連して、日本の貿易環境に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

- Ⅰ 莫大な軍事支出により国際収支が悪化したアメリカが経済政策を転換したことと関わって、固定為替相場制から変動為替相場制に移行した。
- Ⅱ 日本の対米貿易黒字の拡大を受け、先進 5 か国蔵相・中央銀行総裁会議 (G5) でドル高の是正が合意されたため、円高不況に見舞われた。
- Ⅲ 経済成長を基礎に貿易や資本の自由化を進め、IMF 8 条国へ移行した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

第 2 問 次の文章は、自分たちが住む東京に着目して、時代の変化を調べることにした高校生のマサさんとミユさんの会話である。この文章を読み、後の問い(問 1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 12)

マ サ：江戸が東京に変わったのは、明治維新の時だったよね。

ミ ユ：今、手元の年表を見ると、㉑1853年にペリーが来航してから、江戸やそれ以外の場所でも様々な出来事が起きているね。

マ サ：江戸幕府の崩壊が、東京に変わるきっかけだから、そこから考えよう。

ミ ユ：㉒將軍徳川慶喜が、政権を朝廷に返すことを表明した場所は京都だね。

マ サ：幕末は、京都に政治の中心が移っていたようだ。でも、戊辰戦争が始まると、江戸も上野一帯で戦争が起きたりして、動乱に巻き込まれていくよ。

ミ ユ：その後、江戸は東京になる。旧幕府勢力の抵抗が終わると、新政府の支配は安定し、㉓諸外国との間でも新たな関係が整えられていくんだね。

マ サ：ところで、人々はどうやって時代の変化を感じ取ったのかな。

ミ ユ：長い間京都にいた天皇が、東京に入ったのは大きな出来事だったろうね。年表だと㉔天皇は1868年の10月に初めて東京に行幸している。その年に京都に戻って、翌年、再び東京に入り、東京は首都として定着していくよ。

問 1 下線部㉑に関連して、ペリー来航以後の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

Ⅰ 公武合体を推し進めようとする薩摩藩の要求を受けて幕政改革が始まり、参勤交代制の緩和が行われた。

Ⅱ 長州藩が勢力挽回のため京都に出兵し、会津・薩摩などの藩兵に敗れた。

Ⅲ 幕府は、欧米諸国との貿易開始の翌年、江戸の物資不足に対応するため、生糸などの五品については、江戸の間屋を通して輸出するように命じた。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 A

問 2 下線部①に関連して、次の史料 1 の内容と、それに関する政治の動きについて述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

史料 1

臣(注1)其職^{その}を奉^いずと雖も、政刑(注2)当を失うこと少なからず、今日の形勢に至り候も、畢竟(注3)薄徳^{はくとく}の致^{いた}すところ、慙懼(注4)に堪えず候、況や当今外国の交際、日に盛^{いよ}なるにより、愈^い朝権一途に出申さず候ては綱紀(注5)立ち難く候間、従来の旧習を改め、政権を朝廷に歸し奉り、広く天下の公議を尽くし、聖断(注6)を仰ぎ、同心協力共に皇国を保護^{つかまつ}仕^いり候得ば、必ず海外万国と並び立つべく候。

〔幕末御触書集成〕

(注1) 臣：ここでは 15 代将軍徳川慶喜。

(注2) 政刑：政治と刑罰。

(注3) 畢竟：つまるところ。結局。

(注4) 慙懼：恥じて、おそれること。

(注5) 綱紀：国家をおさめる上での規律。

(注6) 聖断：天皇の裁断。

X 史料 1 によれば、徳川慶喜は、外国との交際が盛んになるなかで、朝廷のもとに政権を統一する必要性を述べている。

Y 大政奉還の後、鳥羽・伏見の戦いに勝利した薩長両藩は、その後、王政復古の発令を発して新政府の発足を宣言した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部㉔に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10

X 外務大臣として条約改正に取り組んだが、外国人判事を大審院に任用することを認めていたため強い反対論を招き、一青年により負傷させられた。

Y 明治政府が初めて対等な内容で結んだ条約であり、相互に開港したうえ領事裁判権を承認し合うなどの内容を持つ。

a 大隈重信

b 榎本武揚

c 日清修好条規

d 日英通商航海条約

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 4 マサさんとミユさんは、下線部㉑に関する次の史料 2 と、後の㉒のような錦絵を見つけた。これらに関して述べた後の文 a～d について、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 11

史料 2

十月十三日、快晴。今日、御鳳輦ほうれん(注 1)東京に着き賜う。今朝品川駅を発し給たまい(中略)未刻ひつじのこく頃西城(注 2)へ着き給う。貴賤老稚道路ふくそうに輻輳(注 3)して拝し奉る。更に寸地を漏らさず、錐きりを立つべき所もなかりし。御行列の次第は梓あずさに上せて行わる(注 4)るものあれば、ここに誌しるさず。

(斎藤月岑『増訂 武江年表』)

(注 1) 鳳輦：天皇の乗物。

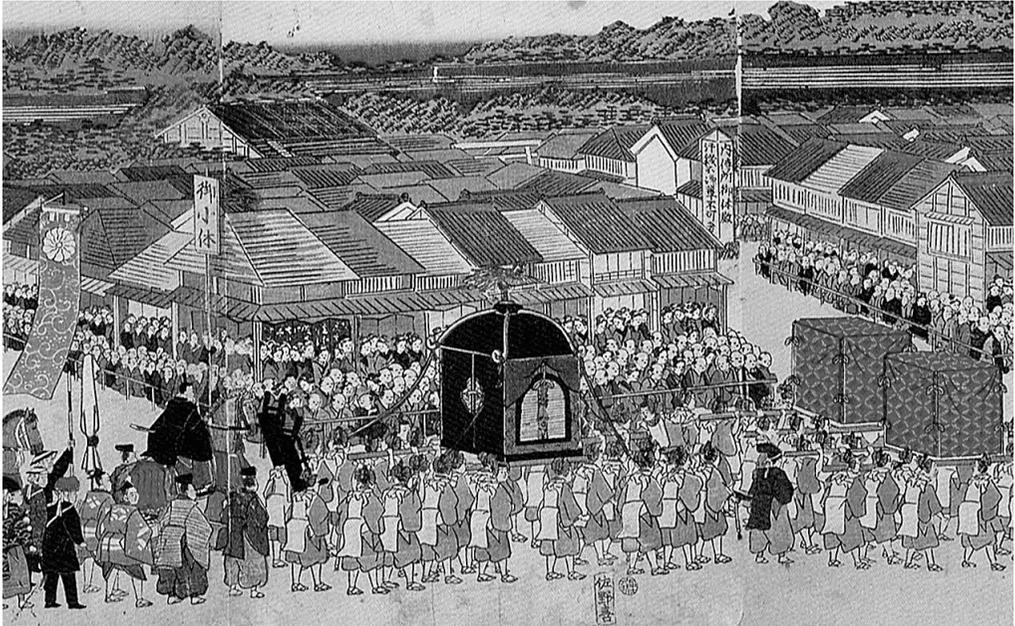
(注 2) 西城：江戸城西の丸。

(注 3) 輻輳：寄り集まって込み合うこと。

(注 4) 梓に上せて行わるる：出版される。

日本史 A

図 天皇の行列を描いた 1868 年 11 月制作の錦絵(図の中央に見えるのは鳳輦)



(『東京名勝 芝神明宮之図』)

- a 明治天皇が初めての東京行幸で江戸城西の丸に入った後も、東京以外の地域では、新政府に対する旧幕府勢力の抗戦は続いた。
- b 開国後、外国文化の影響を受けて、浮世絵の中から多色刷りの技法を導入した錦絵が誕生した。
- c 史料 2 によれば、東京の人々は身分や年齢によって整然と分けられ、天皇の行列を見物したことが分かる。
- d 図のような天皇の行列を描いた錦絵が行幸の翌月には作成されており、錦絵が時事問題を伝えるメディアとして役割を果たしていたことがわかる。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

第3問 博物館で、近代日本の印刷や出版に関する展示が行われた。博物館での次の展示解説文A・Bを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

明治政府は、様々な改革にともない、長文の①法令を数多く出しました。それらの法令を伝達する上で、活版印刷は重要な役割を果たします。活版印刷の技術により、効率的に法令の伝達が行われました。

一方、同じく活版印刷の技術が用いられた新聞・雑誌には、政府からの伝達だけではなく、様々な立場の人々の、多様な意見も掲載され、広く議論を喚起しました。例えば、1874年、②民撰議院設立の建白書が新聞に掲載されたことで論争が起こり、自由民権運動につながりました。

その後、1890年に帝国議会が開かれると、議会での発言は③議事速記録として『官報』に掲載されました。この議事速記録の印刷のために導入された輪転機は、大量の印刷を速く行うことを可能にしました。

問1 下線部①に関して、明治政府の法令について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 12

X 廃刀令などに不満を抱く士族たちによって、熊本県でこの乱が生じた。

Y 内務大臣であったこの人物を中心にして、市制・町村制が公布された。

a 神風連(敬神党)の乱

b 秋月の乱

c 山県有朋

d 大久保利通

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

日本史 A

問 2 下線部①に関して、次の史料 1 は、博物館で展示されていた森有礼の論考で、民撰議院設立の建白書について論じたものである。この史料 1 と、これを掲載した『明六雑誌』について述べた後の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

13

史料 1

いわゆる「民撰議院」なるものは、その制はたして如何ぞや。(中略)これすなわち人民の議院にあらずして、全く政府の議院なり。けだし「民撰」の文字も、民間の人物を政府の撰にて設くる議員の意なるべし。政府の好みにて設くるところの議員なるがゆえに、もし好まざるときは、すでに設立の議院といえども、これを廃するはまた政府の随意なるべし。

(森有礼「民撰議院設立建言書之評」『明六雑誌』)

- a 史料 1 で森有礼は、建白書の文言からは政府の人物を議員にすると読めると評している。
- b 史料 1 で森有礼は、建白書の文言からは政府によって議員が選ばれと読めると評している。
- c 『明六雑誌』は、政府の欧化政策を批判し、平民主義を主張した。
- d 『明六雑誌』は、欧米の近代思想や政治制度を紹介した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

- 問 3 下線部㉔に関して、次の史料 2 は、博物館で展示されていた 1892 年の『衆議院議事速記録』である。また後の説明は、史料 2 に関して解説した文章である。空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、後の ①～④のうちから一つ選べ。

史料 2

二月十五日の総選挙の有様は、如何^{いかが}でありますかと申して見れば、行政権を濫用して、そうして此選挙^{この}に干渉し、又法律を無視して集会を……(注 1)、言論を束縛し、集会を妨害し、又 を濫用し、予戒令(注 2)を逆使(注 3)致しました。(中略)此総選挙^{おい}に於ては、鮮血を流し、此惨状を見るに至ったと云うことは、総^{すべ}て言語に絶えたる次第で、深く遺憾に堪えぬ次第であります。

(『衆議院議事速記録』1892 年 5 月 12 日)

(注 1) 集会を……：「……」は原文のまま。

(注 2) 予戒令：集会を妨害するおそれのある者などを取り締まる法令。

(注 3) 逆使：理に逆らって行うこと。

説明

政府は衆議院での予算審議を優位に進めるために衆議院を解散しました。この『衆議院議事速記録』の中で、登壇者は、政府の選挙干渉によって各地の治安が乱れたことを理由に政府の責任を追及しています。実施された選挙の結果、政府を支持する議員は、衆議院の過半数を 。

- | | | | | |
|---|---|------|---|-----------|
| ① | ア | 保安条例 | イ | 獲得しました |
| ② | ア | 保安条例 | イ | 獲得しませんでした |
| ③ | ア | 統帥権 | イ | 獲得しました |
| ④ | ア | 統帥権 | イ | 獲得しませんでした |

日本史 A

B

印刷されたのは、文字だけではありません。大量に印刷された広告やポスター、包装紙、本の装丁も、人々の嗜好や消費の意欲を刺激し、新たな文化を生み出してきました。

ここでは、日本で最初のグラフィックデザイナーといわれる杉浦非水すぎうら ひすいを取りあげます。1876年生まれの非水は東京美術学校に入学し、最初①日本画を学んでいましたが、洋画の影響を受け、多くのポスターなどを手掛けるようになりました。例えば②1908年から1934年にかけて、三越百貨店の嘱託として、同店のポスターをデザインしています。本の装丁では、③犬養毅の演説などを載せた『木堂政論集』があげられます。政治家もまた、親しみやすい装丁の演説集を刊行することで、より多くの人々に自らの活動を伝えようとしたと考えられます。

問 4 下線部①に関して、明治期から大正期にかけての日本画や洋画について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 日本画に関して、岡倉天心らによって日本美術院が設立された。
- ② 洋画では、「湖畔」の作者の黒田清輝が活躍した。
- ③ 「麗子像」が代表作の横山大観により、日本画の新たな技法が広まった。
- ④ 洋画では、文部省美術展覧会(文展)に対抗する二科会が設立された。

問 5 下線部②に関連して、この時期の社会の状況に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

- Ⅰ 国家主義者の井上日召のもとに集った血盟団による暗殺事件が生じた。
- Ⅱ 女性の解放を目指す平塚らいてうらが、雑誌『青鞥』を創刊した。
- Ⅲ 社会主義者の堺利彦らによって日本共産党が結成された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

- 問 6 下線部①に関して、次の史料 3 は、博物館で展示されていた『木堂政論集』に収録された犬養毅の議会演説である。この史料 3 に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

17

史料 3

世界が、日本の軍事計画について一種の猜疑心さいぎしんをもっているということに異論を差しはさむ者はいないだろう。戦争が終わったというのに、予算案の軍備費はますます増額されている。戦後、韓国の保護国化が実現し、朝鮮半島に対する軍事的脅威は去った。また日露協約をはじめ、列強との間で互いの權益を尊重することを約束している。国際環境は明らかに安定しているのだから、軍事当局者も、国際環境に見合った軍事計画を策定すべきである。

(〔軍事費節減予算論〕大意)

- X 史料 3 で犬養毅は、日本が日露戦争後も軍拡方針を維持することは、国際社会の警戒を招いていると述べている。
- Y 史料 3 で触れられた保護国化に反発し、韓国では東学を信仰する民衆を中心に大規模な農民蜂起が勃発した。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

日本史 A

問 7 次の資料 1～3 は、博物館に展示された、杉浦非水および彼と同時代に活躍した人が制作したポスターである。高校生のノゾミさん、ユウトさん、リコさんはポスターについて、後の会話を交わした。3人の会話の波線部について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 18

資料 1



(注) 鐵：鉄の旧字。

資料 2



(注) 黨：党の旧字。
國：国の旧字。
總：総の旧字。
會：会の旧字。

資料 3

省略

会話

ノゾミ：資料 1 は、1920 年代後半に杉浦非水が制作したポスターなんだ。東京地下鉄道の開通は、関東大震災後の東京の復興とも関係していたんだね。

ユウト：資料 2 は、漫画家の岡本一平が制作したポスターだって。原敬が率いている立憲政友会の党略を批判するために制作されたことがわかるね。

リコ：資料 3 は、ある企業で宣伝を担当していた竹岡リョウが制作したポスターらしいよ。人々にアジア太平洋戦争(太平洋戦争)への協力を求める目的でもポスターは制作されたんだね。

- ① 3人とも正しい。
- ② 3人とも間違っている。
- ③ ユウトさんのみが間違っている。
- ④ ノゾミさんのみが正しい。

日本史 A

第 4 問 次の文章 A・B は、授業の課題で銅像の歴史について調べている高校生のユウさんとリョウさんの会話である。この文章を読み、後の問い(問 1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

ユウ：①近代の銅像で有名なのは、1897年に制作された東京の上野公園にある西郷隆盛像だね。西南戦争で官位をはく奪されていた西郷が、1889年の ア を機に改めて正三位を贈られたことで、銅像の建設運動が行われたんだ。この銅像は、高村光雲が中心になって制作されたんだよ。

リョウ：えっ、高村光雲って伝統的な木彫で有名な人だよ。その人が銅像を作るなんてちょっと信じられないな。

ユウ：光雲の息子である光太郎は、ロダンに師事して彫刻を学んだ イ と親しかつたけれど、光雲も西洋の技法にも関心を持っていたんだよ。

リョウ：ふーん。西郷以外にどんな人が銅像になったの？

ユウ：例えば、伊藤博文の銅像は、1904年に神戸に建てられているよ。政治家だけでなく、江戸時代に大名だった人たちも銅像になっているよ。例えば、②井伊直弼の銅像は、有志が何度も明治政府に建設を願い出て、ようやく 1909年に建てられることになったんだ。

リョウ：これだけ有名な人たちが銅像になるのだったら、天皇も銅像になったの？

ユウ：いい質問だね。③明治天皇が死去した時に銅像建設の動きがあったけれど、賛否両論があって、結局、明治神宮が建設されることになったんだ。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 国会開設の勅諭の発出 イ 荻原守衛
 ② ア 国会開設の勅諭の発出 イ 島村抱月
 ③ ア 大日本帝国憲法の発布 イ 荻原守衛
 ④ ア 大日本帝国憲法の発布 イ 島村抱月

問 2 下線部②に関連して、次の文Ⅰ～Ⅲは、明治・大正期の出来事について報道した新聞記事の一部である。報道が発表された時期を古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 昨今の米価暴騰にて困窮^{いよいよ}愈々その極^{きわみ}に達し居れるが、三日午後七時漁師町一帯の女房連二百名は(中略)米屋及び米所有者を襲い、所有米は他に売らざること(中略)を嘆願し(後略)
- Ⅱ 十年前の二月十日は、明治天皇陛下が強露^{きょうろ}討伐の詔勅を下し給える日なり(中略)沸騰せる国民は今や此日^{この}を以て、山本内閣に対する宣戦^{のろし}の烽火を挙げて(中略)議院に迫らんとす。
- Ⅲ 新帝御踐祚^{せんそ}(注)の初に当り、此^{はじめ}の如き不祥なる政変を見るに至りし(中略)桂公の内閣を組織せんとするに当り、吾人は極力閥族政治の打破を期せんとす。

(注) 踐祚：皇太子が天皇の位につくこと。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 A

問 3 下線部①に関連して、次の史料 1 は、井伊直弼の銅像建設の沿革を記したものである。史料 1 から抜き出した後の語句 X・Y と、それに関して述べた後の文 a～d との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

21

史料 1 井伊直弼像建設の沿革

- 一 明治十七年一月、(中略)直弼公記念碑設計に着手し、(中略)大に事業の進捗を見んとするに際し、突然意外の障害に遭遇し、建碑は一時中止し(中略)
- 一 明治三十二年三月、東京市の有志者相図り、(中略)日比谷公園は直弼公の遭難地に近接し、格好の位置なるを以て(中略)建設の事に同意し(後略)
(『新修彦根市史』)

X 意外の障害

Y 直弼公の遭難地

- a 井伊直弼も加わっていた一橋派に対し、かつて反対していた者たちの反発のことだと考えられる。
- b 井伊直弼による弾圧で処罰者が出た長州藩出身者などの反発のことだと考えられる。
- c 井伊直弼はこの場所で会津藩浪士に傷つけられたことにより、失脚した。
- d 井伊直弼がこの場所で遭難した後、幕府は公武合体政策を進め、和宮を徳川家茂の妻に迎えた。

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

- 問 4 下線部㉔に関連して、次の史料 2 は明治天皇が死去した年の新聞に掲載された、明治天皇の銅像建設に関する板垣退助の意見である。この意見の内容と、この意見が掲載された時期の板垣退助に関して述べた後の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。 22

史料 2

陛下の御銅像を製し奉り、以て民衆をして陛下に接するの思いあらしむるの必要ありと信ず。既に又神宮を建立して、其御徳を慕^{その}い奉らんとするの希望説もあるべけれど、神宮のみにては如何にも物足らぬ心地せらるれば、必ず銅像を建立し御英姿を拝し得るようしたきもの也。^{なり}

(『東京朝日新聞』)

- a 史料 2 で板垣退助は、天皇をまのあたりにしているような思いを抱かせる銅像を建設することこそが、人々の間で天皇を慕う気持ちを高めるために必要な方法だと述べている。
- b 史料 2 で板垣退助は、神宮を建設すれば人々の間で天皇を慕う気持ちは十分に高まるので、銅像を建設する必要はないと述べている。
- c この時期、板垣退助が党首を務めた自由党はすでに解党されていた。
- d この時期、板垣退助は、元首相として元老に任じられ、首相の選任に関与していた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 A

B

ユウ：㉑戦時期になると、多くの銅像が金属供出で倒されることになるんだよね。

リョウ：うん、1923年に建てられたある軍人の銅像も、戦時期に、台座のみを残して供出されたよ。㉒戦後になると、この台座には、広告会社によって裸婦の群像が据えられたよ。

ユウ：戦後にはテレビドラマやアニメの登場人物の銅像までも作られるようになったね。例えば、1983年には、手塚治虫の描いた鉄腕アトム鉄腕アトムの銅像が埼玉県に建てられている。「鉄腕アトム」は、㉓科学技術の進歩に対する期待が高まっていた1950年代に雑誌連載が始まった漫画だよ。

リョウ：どんな銅像が建てられるのか、時代によって変わっていくんだね。

問 5 下線部㉑に関して、日中戦争の勃発から敗戦までの政治・社会について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 戦争が長引くにつれて、米不足が深刻化し、主食がさつまいもなどで代用されるようになった。
- ② 独占禁止法が制定され、物資の買い占め・売り惜しみが禁じられた。
- ③ イギリスによる段祺瑞政権への物資援助に反発して、人々の間で反英の機運が高まった。
- ④ 米内光政内閣によって「東亜新秩序」の建設が声明されて以降、人々の間で東南アジアへの関心が強まっていった。

- 問 6 下線部㉔に関して、次の史料 3 はこの裸婦の群像について報じた新聞記事である。この史料 3 に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 24

史料 3

『裸婦像』が街頭に建てられる、パリの話ではない東京、それも国会議事堂前の寺内元帥銅像跡、まさに軍国日本から文化日本への脱皮を象徴する女神の像である。(中略)平和日本のシンボルとして続々アイディアを練った末『愛情』『理知』『意欲』の三女性による裸婦群像を制作することに決定、三ヵ月間にわたって苦心の結果、二十三日漸く^{ようや}原型を完成した。

(『毎日新聞』1950年6月24日)

X 史料 3 の裸婦像が置かれる前に台座に設置されていた銅像のモデルとなった人物を首班とする内閣は、中国に対し、二十一か条の要求を行った。

Y 史料 3 は、この裸婦像を軍国主義からの脱却のシンボルとみなしている。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

- 問 7 下線部㉕に関して、敗戦から 1970 年代までの科学技術について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 湯川秀樹が、日本人ではじめてノーベル物理学賞を受賞した。
- ② 1950 年代には、生活のなかでの電化が進み、三種の神器と称された自動車やカラーテレビ、クーラーが家庭に普及した。
- ③ 高度経済成長期には、技術革新を背景として、大規模な石油化学コンビナートが相次いで建設された。
- ④ 大阪で開催された日本万国博覧会では、新しい技術が紹介された。

日本史 A

第 5 問 高校生のヒロさんは、1940 年代から 1970 年代にかけての都市居住者の生活に興味を持った。ヒロさんは、当時、東京に移り住んだ 2 名の住民がどのような状況にあったのかについて、聞き取りを実施した。次の文章 A・B は、聞き取りの際に作成したメモである。それぞれのメモを読み、後の問い(問 1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A キョウさん(1930 年生まれ)に対する聞き取りメモ

私が誕生した年に、①それまで両親が経営していた雑貨を扱う小売店が倒産し、15 歳のとき、空襲によって家が焼け、明治期に建てられた長屋に移り住んだ。②敗戦後は生活必需品を得ることも難しくなったため、親戚を頼って東京に移り住もうとしたが、転居先の市区町村長の許可が必要となり、なかなか上京できなかった。③1948 年になって、ようやく上京することができた。

問 1 下線部②は、経済恐慌の最中に起きた。この恐慌に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 26

X この恐慌によって失業者が増加し、都市部では労働争議が多発した。

Y この恐慌で生活に困窮した都市居住者に対処するため、政府は生活必需品の切符制を開始した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 2 下線部①に関連して、敗戦後の時期に行われたことに関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- I 労働者の争議権を保障するため、労働組合法が制定された。
 II 二・一ゼネストが計画されたが、GHQ の指令により中止された。
 III 日本労働組合総評議会(総評)が結成された。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
 ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問 3 下線部③に関して、ヒロさんは、1948 年における東京の都心の状況を記した次の史料 1 を見つけた。史料 1 について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 28

史料 1

道路が駅のところへ来ると、急に焼跡やけあとの新世界ひろが展がり、人々の流れは戦災者の渦のように息苦しくなる。流れている、流れている、人々はまだ的もなく押流されている。(中略)戦災と飢えと宿なしがいたるところに流れている。

(『個性』)

- ① 史料 1 からは、敗戦後の東京で住む家がない人が多くいたことが分かる。
 ② 史料 1 には、敗戦から数年が経過した東京では、空襲の影響を見出すことが難しくなっている様子が描写されている。
 ③ 史料 1 の人々のなかには、敗戦に伴って外地や占領地などから引き揚げた人々は含まれないと考えられる。
 ④ 史料 1 には、敗戦直後から続く深刻なデフレによって、街に失業者があふれている様子が描写されている。

日本史 A

B センさん(1943 年生まれ)に対する聞き取りメモ

生家は専業農家で、中学校卒業後に同級生とともに東京に出て、電機メーカーに就職した。上京後は、㉑戦時中に労働者向けに建設された職工住宅に住んだ。折しも家電普及率も伸び、会社の業績も良かった。結婚後、㉒1960年代に多く建てられた2DK(注)の公団住宅に転居した。沖縄が返還される2年前のことである。公団住宅は部屋が広く、様々な家電を置くことができた。

(注) 2DK：食堂(D, ダイニング)と、台所(K, キッチン)に2部屋を加えた住宅の間取り。

問 4 下線部㉑に関して、戦時中の生活について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 政府は、労働力不足を補うため、学生・生徒や女性を工場などで働かせた。
- ② アメリカ軍による都市への無差別爆撃が行われ、多くの死傷者が出た。
- ③ 都市居住者は、児童も含めて都市を離れることは許されず、空襲の被害が増大する原因となった。
- ④ 戦争が長期化するとともに、人々の間で厭戦気分が高まった。

問 5 下線部㉒に関して、1960年代の政治・社会について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

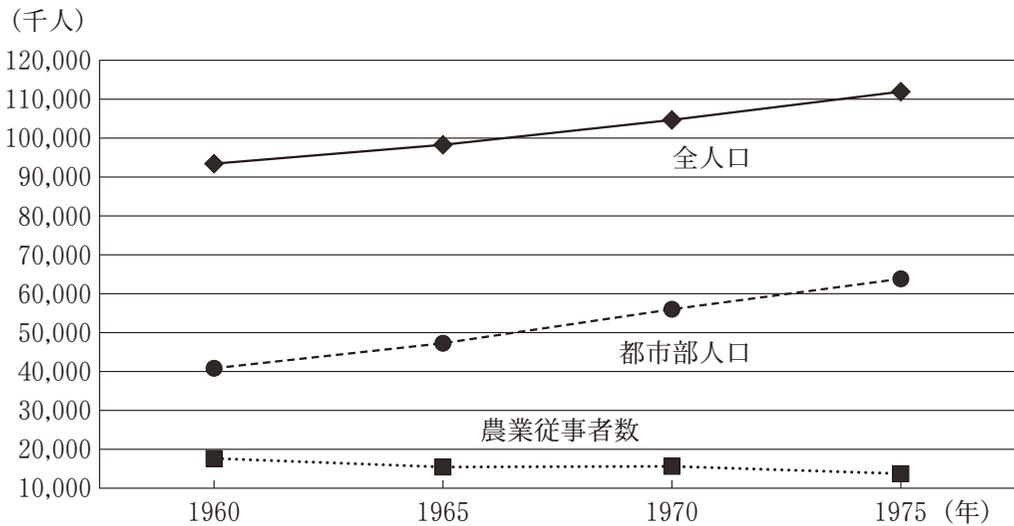
- a アメリカの水爆実験で日本の漁船が被ばくした事件をきっかけに、原水爆禁止を訴える運動が始まった。
- b 民主社会党や公明党が結成され、日本共産党が議席数を伸ばすなど、野党の多党化が進んだ。
- c 公害問題が深刻化し、公害対策基本法が制定された。
- d 第4次中東戦争をきっかけに、石油危機が発生した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 6 ヒロさんは、調査の結果をまとめる過程で、1960年代から1970年代半ばの人口に関するデータを調べ、次のグラフを作成した。グラフから読み取れる内容とその解釈について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

31

グラフ 人口と農業従事者数に関するデータ



(総務省統計局「人口推計」、農林水産省センサス統計室『農林業センサス』、玉置伸悟「戦後35年の住宅事情の変遷」により作成)

(注) 1960年から5年ごとの推移を示している。

- ① センさんが公団住宅に転居した年には、全人口は1億人に達していなかった。
- ② 都市部を除く地域の人口は1960年から1975年の間に半減した。
- ③ 1960年代から1970年代半ばにかけて、全人口に占める農業従事者数の割合は減少しており、都市部の食料難が常態化していたと考えられる。
- ④ 都市部人口はグラフの期間に2000万人以上増加しており、都市部の過密化が進んだと考えられる。

日本史A

問 7 ヒロさんは、聞き取りを終え、都市での生活には住宅が大きな要素を占めることに気づいた。そこで、センさんに対する聞き取りから、職工住宅と2DKの公団住宅の間取り図(図1・2)を作成した。さらに、住宅に関する後の史料2・3を見つけた。図1・2及び史料2・3について述べた後の文章a～dについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 32

図1 職工住宅(戦時中)

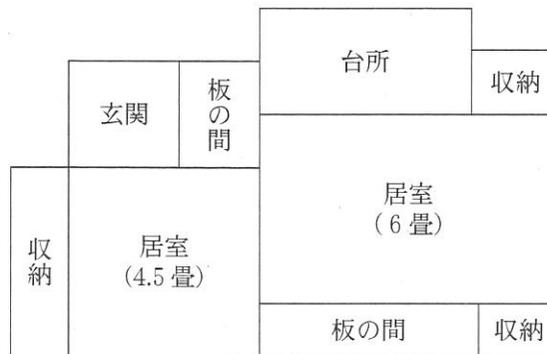


図2 2DKの公団住宅(1960年代)

省略

史料 2

省略

(藤森照信『昭和住宅物語』)

史料 3 3DK の公団住宅について報じた新聞記事

日本人には“3DK が最低基準”などという考えは、夢物語なのだろうか。
 (中略) Tさんは、(中略)3DK にはいったとき「天にもものぼる感動」を覚えた。
 (中略)奥さんと「(中略)“ここを子ども部屋にして”(中略)と、飽きることなく
 新居の絵図面を書いて楽しんだ。結婚十年、これほど夫婦の心が一致した時間
 はなかった」という。

(『朝日新聞』1965年3月9日)

- a 図1のような職工住宅では、家族がそれぞれのちゃぶ台を出して、別々に食事をとるのが一般的であった。
- b 図2のタイプの公団住宅が多く建てられた1960年代には、家電の普及率が上昇していた。このタイプの公団住宅では、住民は各部屋の機能に応じて家電を設置したと考えられる。
- c 職工住宅に住む人々の間で、食事をする部屋と寝室を分けたいという欲求がみられた。このような欲求があったことが食堂を台所とひと続きにして設けるDK形式の住宅が誕生した背景の一つだと考えられる。
- d 1960年代後半以降、3DKの公団住宅が建てられることによって初めて、公団住宅の住民は子ども部屋のスペースを持つことができるようになった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d